



通巻 522

# わかやま

和歌山教区報

行  
支庁  
和歌山教務  
〒640-8137  
和歌山市吹上  
3丁目2番46号  
Tel 073-436-4445  
Fax 073-436-4443  
E-Mail  
・wakayamakyoku  
@piano.ocn.ne.jp  
・w.kouhoubu  
@gmail.com

## 「春学に向けて」

学生担当委員会 委員長 中西 宏治

毎年お正月の楽しみはなんといっても天理ラグビーを応援することなのですが、今年は大学、高校共に正月を聖地で迎えることはできませんでした。残念でしたが、負けた試合も後半素晴らしい追い込みを見せ、あと一步のところまで攻めた試合で見ていて興奮する展開でした。

ラグビーは展開の早いスタミナ勝負の7人制も盛んになってきましたが、やはり15人制ラグビーのフォワード、バックスが一体となつて、何回も起点をつくり、フォロワーし合いながら走り、ボールを繋いでトライを取りにくいラグビーは見えていて凄いなと思います。体が小さいとか、足が遅いとか、それぞれの役割にとどまらない動き、倒されてもすぐ起き上がり、次のプレーに入っていく姿勢はラグビーファンをうならせます。特に天理ラグーマン達は比較的体が小さい方ですから、ひたむきにタックルしては、また、すぐ次のタックルへ向かう姿がカッコ良いですよ。今年の年末の活躍を楽しみにしたいと思います。

さて、和歌山教区学生会はコロナ後、地道に活動を再開し、スタッフとして活動に参加してくれる大学生、専門学生も少しづつ集まってきました。

また、おちばの学生会スタッフの助けも得な

がら、内容的にも充実してきているのではないかと思います。そして昨年11月の学生会総会では、祭儀式から、座りづとめ、前半下りまで勤めさせていただきました。これも少しづつ戻ってきている感じですよ。今後、後半下りまで勤められるように、学担としても応援していきたいと思えます。また、総会には学生会のOB、OGの方々も駆けつけて下さり、後輩たちと共に、おつとめをしてくれる姿に熱いものを感じました。やはり年の近い理解者が居る事はありがたいことだと思えました。何をさせていたたくにも人と人の繋がりが大切です。

論達第四号には、

「教祖お一人から始まったこの道を、先人はひながたを心の頼りとして懸命に通り、私たちへとないで下さった。その信仰を受け継ぎ、親から子、子から孫へと引き継いでいく一歩一歩の積み重ねが、末代へと続く道となるのである。」

学生会も一つ一つ代を重ねて、バトンの受け渡しをしていければと思います。

今年の春学は、

3月27日(金) 10時 南海詰所集合

3月28日(土) 式典参加

3月29日(日) 昼食後、解散の予定です。

参加費 三、五〇〇円(宿泊、食事代)

宜しくお願い致します。

# 活動報告

## ★ 1月のわたちの会

○第29回 9日・参加者12名  
 教務支庁周辺を二人一組で個別訪問をしました。結果報告と、ヘルパーさんから読んで下さいと頂いた、「ちよといひ話」という毎月出している教会報に掲載している不思議な体験談のエッセイを披露して下さい、よふぼくの丹精のあり方等の話になりました。

○第30回 19日・参加者8名  
 和歌山市西ノ庄、木之本地区を二人一組で個別訪問をしました。今年一年句を外さない様に種をまく等の話がありました。

## ☆ 次回予定 ☆

◇2/9 和歌山市福島周辺 戸別訪問  
 ◇2/19 和歌山市土入、榎原周辺 戸別訪問

教務支庁 九時集合

チラシ持参で、体調に気を付けてご参加下さい。宜しく願い申し上げます。

# 各会・各部よりの連絡

## ■和歌山雅楽会

創立70周年第22回定期演奏会

第45回市民文化まつり

●令和7年3月9日(日)

和歌山城ホール 大ホール

(和歌山市七番町25-1)

●開場：午後1時30分

開演：午後2時

終演：午後4時

●前売り：二千円 (当日二千五百円)

学生 五百円

●チケットお求め

和歌山雅楽会 TEL 073-436-4445

●主催：和歌山市

市民文化まつり実行委員会

和歌山雅楽会

## ■春の学生おちばがえり

立教188年(令和7年) 3月28日(金)

会場 本部中庭

○スローガン 「次代を担うようばくへ」  
 ○テーマ 「心をつなぎ輪になって、  
 喜びあふれる春学」

●和歌山教区

3月27日(金) 10時 南海詰所集合

28日(土) 式典参加

29日(日) 昼食後、解散の予定

参加費 三、五〇〇円(宿泊、食事代)

※詳細は、各支部学担委員長まで

